

- 部落長・行政連絡員合同会議……………2～4
- せのりゆう北緯41° / 村民会議から……………5
- 第3回東津軽郡スキー大会から……………6～7
- 新春書初め大会から……………8
- 談話室 / 行事予定……………9
- けっぱる蓬田人 / 戸籍の窓口……………10



(1/9～11)少年スキー教室

初心者にピッタリなんです、この斜面！

かぎりなく降る雪

何をもちらすや

三鬼

海を守るためには山を守らねばならないと、カキで有名な宮城県唐桑町の漁民が川の上流に木を植えているのだ。

広葉樹の森から流れ出る水が鉄分やミネラルを多く含んでいて、それが海に流れカキの生育を促すからだという。

これは、肥土さんというNHKのアナウンサーがある冊子に書いていた。川の上流に木を植えて、その実が海に流れて来るなんて「桃太郎」みたいだとも言っている。

分かっていてもなかなか実践できないものだが、やってしまふところがスゴイ。

「海は森の恋人」がスローガンというこの計画は、何ともロマンチックであり、漁師が山をつくる図なんて、想像しただけでもうれしくなってしまう。

何かに応用できそうだ。

2月

1991

部落長

行政連絡員合同会議



恒例の部落長・行政連絡員合同会議が、去る十二月十八日午後一時三十分から役場二階会議室で開催されました。各部落からの要望、意見交換とそれに対する役場の応答をご紹介します。

八戸村長より「今年もまた、村行政に対しましてご協力を賜り厚くお礼申し上げます」のあいさつで始まりました。

会議の司会は総務課長が担当し、総務課より「交通災害共済加入のお願い」、税務課長より「来年二月から申告が始まりますので、会場借用のお願い」、土木建設課長より「十二月十五日から三月まで除雪が始まりますので、ご協力をお願いします」、社会教育課補佐より「スキー場開き

は十二月二十一日です。スキー場の開設期間は三月二十二日までです。ご利用下さい」、奈良教育長より「修学奨励資金制度の生徒を四月から募集しますのでお願いします」等それぞれお願いがありました。最初の質問は坂本祐一部落会々長でした。



科長 坂本部落長

Q1 国道の防犯灯が電柱二本に対して一個ずつしか付いていないが、全電柱に取り付けて明るい村にしてほしい。



A (総務課長) 現在、防犯灯の数が三百三十一個ありますが、これを二倍にするには、そうとうな財源が必要になります。早急には無理がありますから、検討しながら改善の方向にしたい。

Q2 ホタテ貝の処理について、今後どうするのか。

補Q (郷沢部落長) ホタテ貝の処理については、本来漁家が自分の山や畑に埋めることになっている。また、

ホタテ貝を海に捨ててる所を海上保安庁に見つかると逮捕されることになる。残物を処理するための場所を行政の力で確保してほしい。

A (津島議会議長) 来月、三町村の町村長と議員が集まって具体的な協議をする予定になっている。

Q3 各分館の維持管理の火災保険料が高いため補助金を三万円から五万円に増額してほしい。

A (教育長) ご要望に添って、分館活動がますます活発になるよう努力したい。

Q4 防災無線が聞えない所があるのを改善してほしい。
A (村議会議長) 何度も技術者に調整してもらったが、機能的には限界である。ま



た、柱やスピーカーを増やしても感度が鈍るそうである。

Q5 村功労者表彰規定に該当して表彰される方が多いのではないか。

A (総務課長) 平成元年度に今まで村づくりに貢献した者を広く表彰しようと、表彰規定を改正しております。

A (村議会議長) 昭和六十二年から審査委員長をして

たぎもよ報広

おりますが、疑問に思う点がある。①一般村民を対象にしていない。②他町村に比べて簡単に表彰している。

A (村長) 過去のことは時代背景の推移ですから、これから各町村とのバランスを揃えながら行きたい。

《中沢》



吉田部落長

要望1 JR津軽海峡線の中沢駅停車を実現してほしい。

A (村長) 二回文書で陳情しているが、なかなかJRからいい返事がもらえない。再度陳情していく。

要望2 市営バスを玉松付近に停車してほしい。

A (村長) 蓬田方面にきている市営バスは赤字路線のため、将来的には無くなる可能性がある。

要望3 中沢駅で自転車の盗難が多発しているので、乗捨ての自転車を見つけたら役場に連絡すると、持主が分かるような情報の窓口を作ってほしい。



A (村長) 各機関に働きかけてやっていかなければならない

要望4 中沢の児童公園、神社付近は木の葉が多く落ちるので側溝に蓋をかけてほしい。

A (土木建設課長) 財政に見込みをつけて対応したい。

《阿弥陀川》



八戸部落長

要望1 八戸正宅から八戸与一郎宅までの側溝の排水が流れないので改善してほしい。

A (土木建設課長) 来年度ぜひ実施したい。



要望2 蓬田駅の自転車置場は小さくて屋根もはげているので西側に建設してほしい。

A (村長) 来年度に予算計上したい。駅長ともよく相談して西側に建てることにしたい。

《蓬田》



工藤部落長

要望1 宮本地区会に村から来る防犯灯の補助金を返したい。独立してほしい。

A (総務課長) 宮本地区会に設置されている防犯灯一灯につき三千円の補助金を返すということです。この点については調査して実施したい。

要望2 今年度出来た幹線道路から中学校までの通学道路が狭いので、拡幅してほしい。



A (農林水産課長) 農林水産課の補助事業で対応したいので、用地買収等の協力をお願いします。

要望3 よもぎの園から国道に上がる道路を舗装してほしい。

A (土木建設課長) 建設省の管轄ですが、舗装する計画に入っている。

《郷沢》



高田部落長

要望1 郷沢の幹線農道を舗装してほしい。

A (農林水産課長) 県事業でやることになっていますが、いつやるか決まっています。

要望2 温泉が湧いた場合に当然、郷沢の浜に湯が流れて来ますが、水は十分に検査して処理してほしい。

A (村長) 公害問題になりますから、漁師の死活にかかりますので、最高の技術を駆使して対応するようにしたい。

要望3 玉松台付近に降った雨が福井正光宅の屋根に入ってしまったので、雨が溜まるマスを造ってほしい。



A (土木建設課長) 現場を見てから対応する。

要望4 農事指導情報が回覧で来ますが、漁家のほとんどで読まないなので、農事振興組合に回してほしい。

合と協議してみます。

《瀬辺地》



山館部落長

要望1 高坂商店の上の排水路が水増しするのでサイズの大きい物にしてほしい。

A (土木建設課長) 現場が現場なので、早急に工事出来ないが検討したい。

要望2 瀬辺地漁港工事中海岸を駅から婦人が歩道として利用している。危険だから仮橋を造ってほしい。

A (土木建設課長) いずれにしても今工事が進めば漁港の道路を通れることになりすからもう少しお待ち下さい。

要望3 田浦と大川目を結ぶ連絡道路を舗装してほしい。



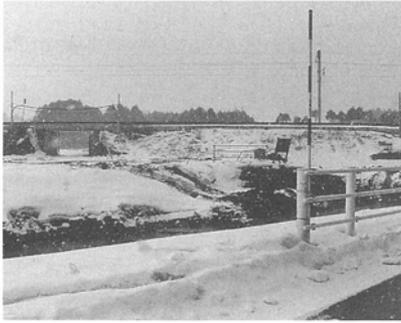
A (農林水産課長) 県の方にも問合せして出来ることは出来るが、早急には無理。財政と協議の上、実施したい。

《広瀬》



川崎部落長

要望1 八幡宮に通じる橋が流失したので、早期完成をお願いします。



A (土木建設課長) 二月に発注して、八月頃には完成する予定です。県発注ですから出来るだけ早めに完成させたい。

《高根》



佐井部落長

要望1 高根部落内の道路のU字溝に蓋をかけて道路として使用出来るよう整備してほしい。

A (土木建設課長) 現況には蓋がかけられる状態ではないので、検討したい。

要望2 広瀬高根橋は冬に吹雪くと全然前が見えなく危険ですから、早めに改善してほしい。



A (土木建設課長) 橋と道路との落差があるので、やるとすれば全面改良しなくてはならない。また、国道から橋までの道路を改良す

る計画があるので、補助事業が採択されないと現状では無理ですが、努力します。
Q6 玉松地域マスタープランが今後どのように進んでいくか説明してほしい。
○総務課長補佐が構想図を示し、このような方向で一帯を整備したい旨説明をする。

- 出席者 (敬称略)
- 中沢部落長 吉田清光
 - 長科部落長 坂本祐一
 - 阿弥陀川部落長 八戸一郎
 - 蓬田部落長 工藤弘
 - 蓬田行政連絡員 清水専逸
 - 郷沢部落長 高田仁吉
 - 瀬辺地部落長 山館清
 - 広瀬部落長 川崎君弘
 - 高根部落長 佐井武道

暮らしと電気安全

家庭でも省エネルギー

(財)東北電気保安協会

家庭の最適温度は、部屋ごとにより大きく異なるそうです。

たとえば家庭の中で多目的な居間は摂氏十八度から二十四度と温度範囲が広く、書斎や勉強部屋は十四度から十六度と低くなっています。

お子さまの勉強部屋の快適な環境をおつくりになる場合には、過度な暖房にならないよう心掛け、足元を暖める工夫が大切です。

ところで、我が国では昭和五十二年二月から毎年二月を省エネルギー月間として、広く国民に対し、省エネルギー対策の啓発運動を行っています。「省エネルギーは未来の子供へのおくりもの」、「地球に対する思いやり」という認識と理解を深め、家庭でも省エネルギーを実施しましょう。

村連合PTAが 創立20周年を祝う！

斎藤仁さんが記念講演！



一月二十七日(日)蓬田中学校体育館において、村連合PTA創立二十周年記念式典が会員、来賓約三百名の出席を得て盛大に催されました。午前九時から開かれた記念式典では、工藤義則村連P会長が「本会は昭和四十五年に小・中学校PTAと高校生を持つ父母の会を参加母体として創立以来、学校と家庭を結ぶ強い連帯感のもとに活動し、PTAの発展と本村社会教育の振興に一定の役割を果

たしてきました。ここに意義ある二十年目の節目を迎え、今後も会員が一体となって児童・生徒の健全育成のため、更に努力して参る所存であります。皆様方の一層のご指導ご協力を賜りたい」と式辞を述べました。引き続き、これまで連合PTAの歴代会長として、教育ならびにPTA活動の発展に寄与された、故山口與八(瀬辺地)、工藤俊久(中沢)、清水信造(蓬田)、中川信義(郷沢)、坂本重彦(中沢)、中村政一(蓬田)、藤田尚政(中沢)さんに感謝状が贈呈されました。

また、来賓の県連合PTA会長代理の森田康男東郡連P副会長、東郡連合PTA北田嘉弘会長、東青教育事務所斎藤昇一主任社会教育主事、八戸良次郎村長より「幾多の変遷(へんせん)を繰り返しながら、教育の充実に情熱を持ち努力を重ねられ、地域発展のため大きな成果を収めてこられ、今日の立派な組織と

なられましたことに対して深く敬意を表します。今後も家庭と学校の絆を更に強め、教育の向上に特段の努力をお願いしたい」とお祝いの言葉がありました。

受賞者を代表して、清水信造さんが謝辞を述べた後、参加者全員で、PTAの歌を斉唱し目出度い式典を閉じました。午前十時からは、国士館大 学講師の斎藤仁先生が『金メダルへの道』と題して記念講演、「柔道を始め、厳しい練習を積み重ねてオリンピックを二連覇したが、常に自分自身との戦いであった。練習で培った力を出し切ることだけを考え、相手は自分自身である」と思い、弱い気持ちに負けな



2月の土曜閉庁日は 9日と23日です。

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまでどおりです。

・幼なじみ どこに居ようと 追う絆
・親と子は 舞で絆を 深くする
・川柳で 絆を結び 友となり
正月も 絆結んだ けやぐ来る

増吉 お富 光子 勝美

・小言にも 絆があれば 夜も楽し
・父と子が けんかで絆 強くなる
・何代も つづいた絆の 老夫婦
人並に 絆を求め 五十代

森勝 尚政 昭夫 重彦

ここ数年、雪投げをしないせいか、体力不足でありますか？
雪が降らないとスキー場も大変です。

大回転に続々入賞！

第3回東津軽郡スキー大会

日頃の練習が実を結ぶ



郡下のスキー人口拡大と技術向上を目的に東津軽郡体育協会（小嶋要市会長）主催の第3回東津軽郡スキー大会が、一月二十日（日）村営スキー場において開催されました。

この大会は、この数年雪不足のため二年連続中止が続き三年ぶりの開催となり、選手、関係者約二百五十名が参加し、大回転、距離競技に熱い戦いを繰り広げられました。

開会式では、名誉大会長の八戸村長が「本大会が当地で開催されることを大変意義深く思います。これを機会にスキー人口の拡大と選手の育成に期待します」と挨拶し、続いて小嶋要市大会長が挨拶、津島村議会議長のお祝いの言葉がありました。

選手代表は伊豫部美希子（蓬田中学校一年）さんで、元気に選手宣誓をしました。

競技は、小学四年生の女子の大回転から始まり、各町村の選手は日頃の練習成果を充分に発揮した滑りを見せてくれました。

距離の部では、小学生女子の部からスタートし三十秒毎にスタートする競技方式でした。

表彰式は、入賞（一位～六位）した選手には賞状が贈ら

れ、三位まで入賞した選手は「金」「銀」「銅」とそれぞれ大きなメダルを来賓の方から首にかけてもらい大喜びでした。

午後二時二十分過ぎにはすべての競技が終了し、一人のケガ人もなく大会は無事終了しました。

入賞者は次のとおりです。

◆大回転

- ①古川誠（小学生五年男子）
- ①福浦健太（小学生六年男子）
- ①伊豫部美希子（中学生一年女子）
- ②中村勇輝（小学生四年男子）
- ②藤本勉（小学生五年男子）
- ②武井宏文（小学生六年男子）
- ③飯田美沙子（小学生四年女子）
- ③工藤祐輝（小学生四年男子）
- ③坂本恭一（小学生五年男子）
- ③小山内梨佳（小学生六年女子）
- ③木戸一郎（小学生六年男子）
- ④藤本禎（小学生四年男子）
- ④越田和人（小学生五年男子）
- ④飯田理賀子（小学生六年女子）
- ⑤津島永平（小学生四年男子）
- ⑤山館絵里子（小学生六年女子）
- ⑤森伸治（小学生六年男子）
- ⑥山館大地（小学生四年男子）

おめでとうございます。



▼選手も雪だるまが歓迎



◀開 会 式



◀元 気 よ く ス タ ー ト !



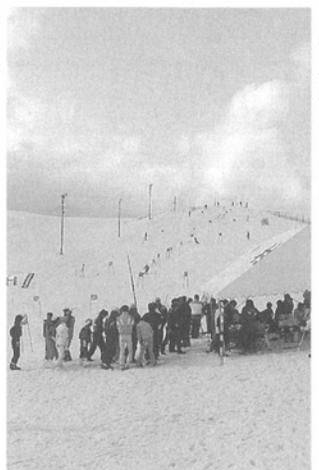
◀元 気 よ く 選 手 宣 誓 し た 伊 豫 部 さ ん



◀旗 門 を 見 事 に 通 過 の 武 井 君



◀距 離 競 技 は 自 分 と の 戦 い !



◀競 技 役 員 は 大 忙 し !

元気いっぱい書初め

村教育委員会社会教育課が実施

一月七日(月)村教育委員会社会教育課主催の新春書初め大会が、ちびっこから一般まで六十人が参加して、村農業者トレーニングセンターにおいて開催されました。

最初、奈良尹教育長が「手習いは大人になってから初めるのでは大変ですから、学校に入っている時に覚えて下さい。また、県内で行われている色々な大会に出品して自信



を持ってほしい」と激励しました。

この日指導して下さったのは坂本毅(中沢)さんで、始まる前に参加者に学年ごとに与えられた席題のお手本を披露しました。早速参加者は思いの場所に新聞紙を敷いて、与えられた席題を元気にっぱいに筆をはしらせていました。学年ごとに与えられた席題は次のとおりです。

一年 「ひつじ」
二年 「もちつき」
三年 「かるた会」
四年 「初日の光」
五年 「かき初大会」
六年 「初空に白鳥」
中一 「岩木山雲海」
中二・三 「春風百花舞」
一般 「独見松竹心」
一般 「花発鳥啼千里心」

審査は午後から行われ次の方々が入選されました。

●「金賞」
▼中川ゆか(小一) ▼森倫子(小二) ▼中川よしえ(小三)

▼野口ひとみ(小四) ▼坂本千鶴子(小五) ▼大宮千尋(小六) ▼藤田裕子(中二) ▼田中勇三(一般)

●「銀賞」
▼太田たかひと(保育所) ▼久慈あかり(保育所) ▼稲葉あやみ(小二) ▼八戸さとこ(小一) ▼森やすひろ(小一)

▼太田あやこ(小二) ▼野口絵里(小二) ▼川内麻紀(小三) ▼大宮裕之(小三) ▼森廣野(小三) ▼野藤はるか(小四) ▼森喜朗(小四) ▼八戸ゆかり(小五) ▼武井里美(小六) ▼小野由紀子(小六) ▼川内亜紀(中二) ▼稲葉喜恵子(一般)

おめでとうございます。



長年地方自治に貢献!

坂本孫九郎氏勲五等瑞宝章叙勲祝賀会

平成二十二年十二月二十三日(日)坂本孫九郎氏(長科)の勲五等瑞宝章受賞を祝う祝賀会が、招待者約百人を集め、村農業者トレーニングセンターにおいて開催されました。

坂本さんは、村議会議長を二期八年、村議会議員を連続六期務めたほか、村社会福祉協会の初代会長を歴任し社会福祉の向上に尽力され、地方自治功労者として勲五等瑞宝章を授与されました。

祝賀会では、発起人を代表して、八戸良次郎村長が「村発展の功績が認められ、輝かしい受章となりました。今後地域発展のためますますのご活躍を期待します」と挨拶、坂本氏の経歴をご紹介して功労をたたえました。

また、友人の竹中修一前衆議院議員、神山久志県議会議員より「これからも奥様ともども元気で長生きして、地域のために頑張ってください」とお祝いの言葉をいただきました。

坂本さんは「私がこうして勲章を頂けたのも村民の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

その後、ご夫妻には坂本教平(長科)君と坂本智香(長科)さんより花束がプレゼントされました。

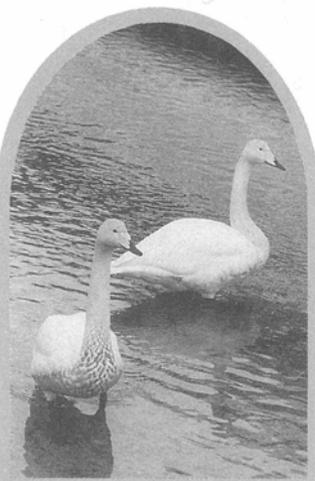
祝宴は、坂本増吉前村議会議長の音頭で乾杯して始まり、おめでとうございます。

祝賀会では、発起人を代表して、八戸良次郎村長が「村発展の功績が認められ、輝かしい受章となりました。今後地域発展のためますますのご活躍を期待します」と挨拶、坂本氏の経歴をご紹介して功労をたたえました。

また、友人の竹中修一前衆議院議員、神山久志県議会議員より「これからも奥様ともども元気で長生きして、地域のために頑張ってください」とお祝いの言葉をいただきました。

坂本さんは「私がこうして





談話室

マッサージ一筋!

今回は、十六歳の時からマッサージ師として五十年間もの長い間、村内外の方の肩凝りや腰痛を指だけで治療して来た山館きそ（瀬辺地）さん

に取材しました。山館さんが今の仕事を始めたきっかけは、小さい時から足が悪く、親の勧めで専門学校に入りマッサージの技術を習得したことでした。今の仕事を開業した当時は、

蟹田から阿弥陀川までお客さんの家を訪問してマッサージをするということから始め、料金は百円でした。（現在は、千円です）

「最初の頃は若かったんで、大人（男女）を裸にするのがとても恥ずかしかったし、親をずいぶんと恨んだこともあった」と話してくれました。

それから仕事も軌道に乗り、お客様が、足の悪いのを知って山館家へ直接来てくれるようになりました。そこで自宅の一室でマッサージの仕事をやるようになりました。

現在は、毎週、月・水・木曜日に、役場から依頼されて、老人憩い家で高齢者の方の治療に専念する毎日ですが、多い日には二十人の方をマッサージすることもあるそうで、プロとしての腕前が発揮されます。

今では、村の高齢者に絶大な人気です。だから、今まで来ていた方が突然亡くなった話を聞くととても悲しくなるそうです。「今の歳になってみて親が勧めてくれたこの仕事にとっても感謝している」と話す山館きそさんは、腕によりをかけて治療に今日も頑張る。



No.36

がんばる

山館 きそさん
瀬辺地

2月行事予定

日	行	事	担
5	一歳半児二歳児健診	13:00	民生課
5	ワipro教室	18:30	村中央公民館
6	ゲートボール教室	19:00	村中央公民館
12	ワipro教室	18:30	村中央公民館
12	ゲートボール教室	19:00	村中央公民館
13	雪上運運会		蓬田中学校
16	股脱健診	9:00	民生課
19	ワipro教室	18:30	村中央公民館
19	ゲートボール教室	19:00	村中央公民館
20	ワipro教室	18:30	村中央公民館
26	ゲートボール教室	19:00	村中央公民館
27	ワipro教室	18:30	村中央公民館
27	ゲートボール教室	19:00	村中央公民館



現在、瀬辺地変電所下の海岸工事が進められております。最近では見られなくなった砂浜を復元しようとする工事ですが、一部が完成し、沖合約五十メートルまで砂浜が出来上がりました。きれいな海岸です。一度ご覧下さい。

みくつけた 36

あきぎの青木製作所

(有)青木製作所
代表取締役 青木 栄さん



造会社でした。

ところが勤めたものの、その会社は労働時間が長く当時私も青年時代でしたので食べる事に一番不自由でした。

その頃は一時帰りたいと思つた事もありました。しかし帰る訳には行かずそのころは食べられる所を探して新聞配達を三年間勤めた事もあります。

その後、電気会社に入社致して三年後に結婚し、二人の子供が出来た時、会社の転勤で群馬県渋川市に住むようになった訳ですが、三年後に会社

社が倒産して、一時生活に困つた時もありました。

その頃妻と相談して農家の物置小屋を借りて、妻の協力で仕事を初め、昭和四十八年社名を有限会社青木製作所として設立しました。

今では会社の方もなんとか経営も順調に進んで居ります。お陰様で娘も嫁に行き、長男も昨年十月に結婚して今は妻と二人での生活です。

群馬県は温泉の多い所です。これからも故郷蓬田村を忘れずに一生懸命経営に努めて行くつもりです。

私、生まれ故郷蓬田村を離れて年月の立つのも早いもので、三十四年になります。当時は村には、勤める職場も無く、又中学校の学歴ぐらいではとくにありませんでした。私はそれなら東京を目ざして、最初の勤め先はカバン製

社が倒産して、一時生活に困つた時もありました。その頃妻と相談して農家の物置小屋を借りて、妻の協力で仕事を初め、昭和四十八年社名を有限会社青木製作所として設立しました。今では会社の方もなんとか経営も順調に進んで居ります。お陰様で娘も嫁に行き、長男も昨年十月に結婚して今は妻と二人での生活です。群馬県は温泉の多い所です。これからも故郷蓬田村を忘れずに一生懸命経営に努めて行くつもりです。



めも

▶現住所／群馬県渋川市金井1462-7
／☎0279(23)7264▶生年月日／昭和13年2月22日▶出身／阿弥陀川／青木定光氏弟▶家族構成／妻・芳子・長男・辰幸・長男の妻・美樹▶好きなもの／ゴルフ▶経歴／(昭和48年11月)(有)青木製作所設立(木工塗装)(昭和57年8月)真空メッキに転職～現在に至る

たぎもよ報広



2年
戸籍の窓

人口と世帯数
(12月31日現在)

総人口 4,176人
男 2,013人
女 2,163人
世帯数 1,052世帯

12月受付分

お誕生おめでとうございます

坂本 雄大 (行生子) 長男
木村 遼介 (先雄子) 長男
福士 勇介 (渡子) 長男

ご結婚おめでとうございます

(田中正樹(広瀬) 中佐子(東京都)
(田中範明(広瀬) 三橋通代(木造町)
(中川信明(郷沢) 久慈幸子(青森市)
(山田淳一(弘前市) 藤本まなみ(長科)
(若佐晃(中沢) 平泉裕子(平館村)

おくやみ申し上げます

山館 ツヨ(瀬辺地 86歳)
柿崎 き彥(広瀬 72歳)
山口 與八(瀬辺地 82歳)